

はやりわかり、みんなで進める協働事業！～まちづくりを考えてみましょう！～

①地域課題を考えよう
 地域の守りたいものは？ 地域が大切にしたいものは何？

②みんなで話し合おう
 どう進める？ 私はこれにするわ。

③みんなでやってみよう
 たとえば「スポーツゴミ拾い」拾ったゴミの量で優勝者が決まります。みんなで楽しみながら問題を解決します。

④ふりかえり
 子ども達も一緒にいいな。 こうしたけどこの方がよかった。 次はこうしたいわ。

「守りたいもの」「大切にしたいもの」を考えれば、ヒントは自然にみつかります。

どう進めるかをみんなで協議し、役割も決めましょう。

「住民だけでできる事業か」「市と協力すべき事業か」「市にしかできない事業か」みんなでよく考えましょう。

ここがポイントです。 ふりかえりを次に活かしましょう！

はじめてみようまちづくり！～私たちも取り組んでいます。～

「かづりん事業」が始まったきっかけは？

加積は、りんごの里の農村地帯。新住民が増えました。それなら子どもたちに、りんごの花咲くふるさとづくりに参画させてはという提案があり、地域振興会と公民館、生産者のみなさんが大賛成したことから始まりました。

どのような活動をしていますか？

小学校へマスコットマーク募集のお願いをしました。そこで1年生がデザインした「かづりん」の作品とネーミングに決まり、かわいいので着ぐるみも作ることにしました。予算が無くて寄付を募ったら2倍も集まりました。それで子ども2体も追加して完成したゆるキャラが、いまや引っ張りだこの人気者に。



かづみの郷プロジェクト加積地域振興会

かづりん体操の様子



産業まちづくり部長 奥野 達夫さん



活動をしている中で印象に残ったできごとは？

まち流しでは「かづりん」親子を先頭に、3歳児の子どもたちが沿道で青りんごを配り、とても評判がいいです。かづりんのミニチュアを高齢者の住民が手作りして公民館で飾っています。また、子どもたちが作った、かわいい「りんご」の歌に曲がついて、リズム体操になりました。「かづりんカレー」のアイデアまで生まれ、子どもを主役に住民が楽しんでいます。

「不法投棄・粗大ゴミの回収事業」に取り組んだきっかけは？

2年前から毎年春と秋に2回、区長会、防犯組合、環境保健衛生協議会の3団体で不法投棄巡視を実施しています。特に粗大ゴミが多く、30年間の放置ゴミであると聞いて回収しよう決めました。

どのような活動をしましたか？

作業にあたり、草刈、樹木の伐採、作業道の整備などから取り組み、クレーン等を使用し回収に3日かかりました。4トントラック9台分の不法投棄物が回収されました。



西布施地域振興会

撤去作業の様子



会長 佐々木 和允さん

市との協働事業になったのは？

回収ゴミの処分等につき、市環境安全課に協力依頼し、協働で実施する事になりました。

これからどのように展開していきたいですか？

今後とも不法投棄がなされないように、監視カメラでの見守りや、金網柵のフェンス等を取り付けたいと思います。また、新たな取り組みとして、天神山の整備を天神地区と一緒に進めます。昔のように、遠足で子どもたちに天神山に来てほしいと考えています。

協働の主体とは？

協働を担う主体は、市民・市民活動団体、事業所、市が想定されます。それぞれが連携、協働してさらに活動を発展させましょう。

個人でできる活動

ゴミ拾い、こえかけ運動、マイ箸運動、マイバック運動、ダンボールコンポスト運動、リサイクル活動



みんなで連携

地域によるつながり 町内会自治会、地域づくり団体、地域団体が連携し、地域振興会等の組織形成。

町内会・自治会

- あいさつ運動
- 資源物回収などのリサイクル活動
- 溝・水路掃除
- ゴミ集積場の管理
- 運動会・スポーツ大会
- 祭り・盆踊り

地域づくり団体

- 体育振興会 (スポーツを活かした活動)
- 文化振興会 (文化を活かした活動)
- 歴史・伝統保存会 (歴史や伝統を活かした活動)
- 自然保護会 (自然風土を活かした活動)
- 文化祭・作品展
- 歴史探訪
- 自然保護活動

目的によるつながり

ボランティア団体

- 災害時の活動
- 在宅の高齢者に対応する活動
- 読み聞かせ
- 観光ボランティア

NPO法人

- 地域バス運行
- 環境保全
- 保健・医療・福祉

各地域団体

- 社会福祉協議会 (地域福祉の推進を図るための福祉のまちづくり活動)
- 防犯協会 (犯罪のない安全で明るく住みよいまちづくり活動)
- 自主防災会 (地域の防災力の向上を図るためのまちづくり活動)
- 消防団 (火災時の消火活動支援)
- 交通センター (交通事故を防止する活動支援)
- 敬老会
- 子育てサロン
- 防災訓練の実施
- 防災研修会の開催
- 防犯パトロール
- 交通安全街頭指導
- 防犯灯管理

市・事業所など

- 事業所 (社会貢献活動)
- 学校・市

市民協働を進めるためのプロセス

- 1 気軽にできることからやってみよう!**
 気軽にできること、負担にならないことから、まずやってみましょう。日常のささやかなことから一歩を踏み出すことが大切です。
- 2 「良くしたい・楽しめること」発見!**
 できることから行動を始めると、どんなことが課題なのか見えてきます。どうやったら良くなるのか、具体的な方法を考えてみましょう。
- 3 仲間ができた!**
 仲間ができれば活動も広がります。地域の課題は、あなただけが問題だと感じるわけではありません。ご近所に声をかけてみましょう。
- 4 支援制度を利用しよう!**
 市では、市民公募型提案事業や地域特性事業など資金面の支援、公民館等の場所の提供、人材の育成や支援などを行っています。
- 5 交流・協働しよう!**
 地域のコミュニティ組織とNPO・ボランティア団体などは、「まちを良くしたい」という思いは共通です。お互いの存在を認め合い、長所や資源を活かすことが大切です。